

令和6年度 中区障害者自立支援協議会 事業報告

年間テーマ/主な取り組み

◎中区テーマ【 まるっと支える中区の暮らし～福祉（ひとの幸せ）を実現するネットワークづくり～ 】
 中区は複合世帯が多く、児童虐待の件数も多い。一相談員や単一の機関だけでは課題解決は難しい。多機関連携が不可欠である。誰もが地域でその人らしく暮らせるよう、ネットワークの構築をしていく。

日時・場所	協議会活動内容			備考
	運営会議 (偶数月第1水曜日)	指定相談支援事業所交流会(第2水曜)	作業所交流会 (奇数月第2火曜)	
4月 中区役所	3日 運営/テーマ設定、 定例会議内容	10日 自己紹介、年間計画		
5月 中区役所	15日 定例/ 複合世帯の事例	8日 「BCPIについて」	14日自己紹介、取り組み計画、つぶやき	5/22～24ナカ・ナカマ♡ネットワーク開催
6月 中区役所	5日 運営/ 定例会議振り返り	12日 「実地指導」		
7月 中区役所		10日 「報酬改定」	9日ナカ・ナカマ♡ネットワークについて他	
8月 中区役所	7日 運営/ 定例会議の打ち合わせ	21日 「社会資源」		8/8～9ナカ・ナカマ♡ネットワーク@アンディイズミヤ泉北店
9月 中区役所	18日 定例/ 社会資源活用成功事例	11日 「相談支援のいろいろ」	10日当事者交流会、支援学校交流会準備	9/18～20ナカ・ナカマ♡ネットワーク開催
10月 中区役所	2日 運営/定例会議振り返り	9日「児童」児童通所施設との交流		10/27中区区民フェスタ(ナカ・ナカマ♡出店)
11月 中区役所		13日「児童」子育て支援課・1-ｽｽｯﾌﾟ-ｾﾝﾀ-とは	12日支援学校(堺支援・泉北支援)との交流会	
12月 中区役所	18日 定例/子ども家センター、複合世帯事例	11日「医療」訪問看護について		12/12～13ナカ・ナカマ♡ネットワーク@イズミヤ泉北店
1月 中区役所		8日「医療」事例共有・意見交換	14日今年度の取り組みの振り返り	
2月 中区役所	5日 運営会議/定例会議の内容、体制について	12日 「研修企画」		2/19～21ナカ・ナカマ♡ネットワーク開催
3月 中区役所	19日 定例会議振り返り、次年度にむけて	12日 振り返り、まとめ	11日 防災研修	

◎ 区 の 取 組

◀ 定例会議 ▶

年間を通して事例検討の取り組みからそれぞれの機関の役割や支援の視点等共有するところから相互に理解を深め、連携について考えてきた。三世代の複合世帯の事例では、関係機関も多く、家族個々の視点で支援を考えると支援者同士の軋轢が生まれたり、連携が取れない場合があるが、世帯全体の支援を考える視点の重要性を議論した。9月は交流部会にもオープンで中区内にあるeスポーツを中心とした就労継続支援B型の実践事例の提供を行い、グループワークを実施した。「当事者の自主性尊重、希望の実現、ないものは創り出す」支援視点を共有することが出来た。

◀ 指定相談支援事業所交流会 ▶

毎月テーマを設定し、顔の見える関係性の構築はもとより、支援の幅を広げる取り組みを行ってきた。2月までで委員以外のゲストスピーカーや交流会の参加者は16機関18名となり多くの機関や事業所との交流ができた。

◎ つばやきや個別事例、取り組みから挙げた課題⇒「災害時や緊急時に備え人工呼吸器の予備バッテリーやポータブル電源の確保が必要と言われるが、該当する人が限定されているため必要度は高いが制度が利用できない人がいる。」「学校との連携が難しい（相談支援・児童通所支援施設）」「相談支援との連携が難しい（児童通所支援施設）」「精神科症状のある方で身体の合併症がある場合、受け入れてもらえる医療機関がない（救急時、転院も含め）三次救急である市立総合医療センターに精神科があってほしい」等

◀ 作業所交流会 ▶

中区内の日中活動場所の社会資源集「ナカ・ナカマ♡がいどぶっく」の更新、今年度もナカ・ナカマ♡ネットワークは地域の店舗での販売会を2回実施し地域交流と啓発を行った。「支援学校との交流会」と「なかくの当事者交流会」も実施し、ライフステージを通じた支援の連携、当事者や支援者とのつながりる仕組みを意識して取り組みを行ってきた。3月は中区に特化した防災について、消防署と自治推進課を講師に研修を実施した。

◎ 市 協 議 会 へ の 提 案 等

・指定相談事業所交流会、作業所交流会ともに、区の協議会のテーマに沿って活発に取り組みができ、つながりや幅も広がっている。運営に関する整備を行い、ネットワークが継続できるような仕組みを今後も考えていきたい。

・中区は複合課題を抱える家族支援、児童虐待のケースも多い中、サービス利用や関わる支援者に期待される役割や求められることも大きく、連携について相談支援で抱えている課題も多い。課題の解決に向けて、区協議会でも取り組み議論を行い意見をあげていきたい。市として、仕組みについては障害児の相談支援部会で十分に検討いただきたい。

・災害時や緊急時の備えについて、人工呼吸器の予備バッテリーやポータブル電源の補助については24時間装着が必要という要件に該当しない方にも診断書の内容や条件を緩和するなど対象の拡大を期待する。医療的ケアが必要な方も増えており、購入補助やレンタル等、制度設計が必要である。

→人工呼吸器用の外部バッテリーについては、令和5年度から、日常生活用具に追加。その際、ポータブル電源も対象になっている。災害が増えていることから、安心安全のために追加した経緯があり、日常生活用具については定期的に見直しを行い、優先順位をつけて検討していきたいと思うとの回答を得た。